

BOstudio CSR 活動報告書 2011



株式会社ビー・オー・スタジオ

目次	
1. 社長メッセージ	4 P
2. 会社概要	5 P
3. CSR 活動概要	6 P
4. CSR 活動報告	
温室効果ガス削減：チーム・マイナス 6%加入	10 P
ごみ処理	
分別の徹底	
機密文書溶解サービスの利用	
エコキャップ運動⇒プラキャップごみの削減	
エコバッグの支給⇒買い物袋ごみの削減	
MY 箸の支給⇒割り箸ごみの削減	
割り箸回収	
使用済み切手の回収⇒ごみの削減	
ごみ排出量の監視	
プリンター印刷枚数の監視	
使用電力量の削減	
待機電力の削減	
オフィスの空調管理の徹底	
加湿器の利用	
サーキュレータの利用	
使用電力量の監視	
情報収集・社内啓発	
エコプロダクツ 2008 への出席	
社内啓発（割り箸と環境負荷）	
社会活動	20 P
切手収集	
エコキャップ運動	
渋谷区クリーンキャンペーン参加	
使用済割り箸回収	
GSL（グリーンサイトライセンス導入）	
東北関東大震災義援金寄付	

個人情報保護	24 P
労働環境の改善	25 P
加湿器の導入	
オフィスエントランスの整備	
マガジンラック	
エントランスマット	
シール	
サーキュレータの導入	
オフィスグリコ	
掃除について	
食器の購入	
置き菓の導入	
社内での活動報告状況	26 P
月例報告	
新人研修	
社外への情報公開	26 P
CSR ブログ	
年次報告書	

1. 社長メッセージ

2007年からスタートしたCSRプロジェクト。今年は何と言っても3.11に起きた東日本大震災が起きた年となりました。

弊社としては、無理をせず「やれることからやっ払いこう！」をスローガンに取り組んで参りましたが、各種定点観測の結果、概ね前年を下回ることができました。

節電含め省エネについては4年前から取り組んでいたこともあり、弊社としましてはもう少しだけ頑張ってみよう、ということでしたので、特別苦しいこともなく、自然に取り組むことができました。

ただ、観測結果を見ていると、よりエネルギーを使わない結果が出ているということは、逆に考えると自分たちでできることはまだまだあった、ということになります。

もしかして、もうこれくらいでいいだろう、心の隙があったのかもしれない。

ほんの少し、義援金にも協力いたしましたが、復興に関してはこれからです。弊社としてどのような形で関わっていけるのか、継続的なこころみがこれから重要になってくると思っています。小さな会社でもどこまでやれるか。アイデアと創意工夫をもって、これからも取り組み、2011年を総括したいと思います。



代表取締役社長
川添 祐貴

2. 会社概要

社名 株式会社 ビー・オー・スタジオ

設立 2003年10月10日

住所 〒150-0036

東京都渋谷区南平台町 2-12 渋谷南平台ビル 4F

TEL:03-5784-1045

FAX:03-5784-1046

代表取締役 川添 祐貴 (かわぞえ ゆうき)

業務内容

web 戦略コンサルティング

SEO 調査

web サイト調査及び評価

web サイト企画・制作

運営体制コンサルティング

web サイト完全受託運用

自社コンテンツ・サービスの運用

(経済産業省の経営革新計画に認定)

新規事業開発



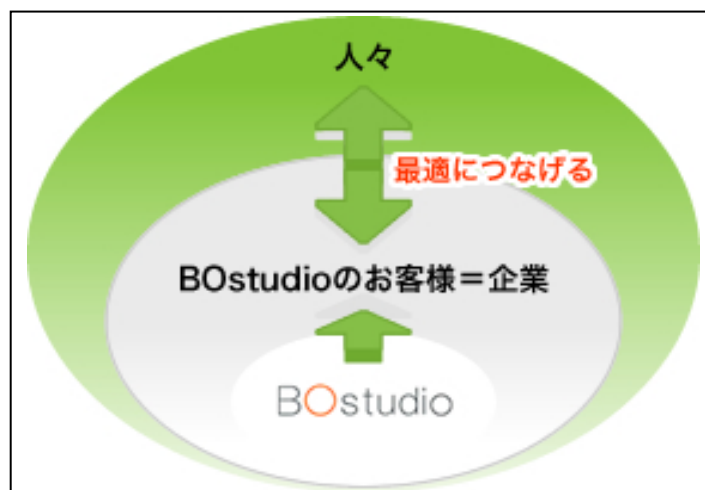
企業理念

Good&Fit!! より良く、より最適に、人々の生活をより豊かに

より良く、より最適に、
人と企業がつながることが、
人々の暮らしをよりワクワクするものに変えていきます。

“Good&Fit”とは、人と企業が最適につながること。

Web コミュニケーションの設計とプロデュースを通じて、より良い社会づくりに
貢献する。それが私たちの仕事です。



経営方針

ビー・オー・スタジオは、
業績をアップさせるWebプロデュース会社です。

ミッション

お客様の“らしさ”を見出し、表現します。

お客様自身では気付きにくい強みや特徴を最大限引き出し、競合他社との差別化要因を見出します。

ファンが増えるコミュニケーションプランを企画、運営します。

徹底的な情報収集とその共有から、Web コミュニケーションを活性化させることで、お客様のファン作りに貢献します。

人と企業のWebコミュニケーションを効果的にする

独自のサービスを追求します。

インターネット市場を最大限に活用し、効果的かつ具体的“カタチ”を提案・進行していきます。

ビジョン

3つの「ナンバー1」宣言！

3つの「ナンバー1」宣言は、ビー・オー・スタジオが描く“夢”＝ビジョンを表しています。

私たちは、この夢に向かい日々成長していくことを誓います。

宣言 1 役立ち度ナンバー1

どこの会社よりも、お客さまから喜ばれ、役立つと思って頂ける会社を目指します！

私たちは、可能な限りの現場解決と企業や商品の価値を最大限に引き出し具現化していくことで、貪欲に成果達成を追い求め高いお客さまに喜ばれる会社を目指します。

宣言 2 ファン作りナンバー1

どこの会社よりも、お客さまにファンになって頂くこと、ファンを増やしていくことを目指します！

お客さまと夢を語り合い、情熱を持って共に夢を形にする関係性を築くことで、お客さまのファン作りに貢献します。私たちは、常にお客さまからの期待値を超える価値を提供し、ひいては私たちのファンになって頂くことを目指します。

宣言 3 いい職場ナンバー1

どこの会社よりも、様々な人が活躍し、いきいきと働けるいい職場を目指します！

仲間として助け合いながらも、ライバルとして切磋琢磨できる社内環境により、新しいことに取り組むチャレンジ精神を育むと共に成果が正当に評価される組織であり続け、いつもみんなが笑顔でいられる会社を目指します。行動指針9項 BOstudio は、ミッションにもとづき9項からなる、行動指針を打ち出し判断・行動しています。

行動指針 9 項

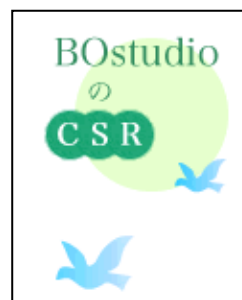
BOstudio は、ミッションにもとづき 9 項からなる、行動指針を打ち出し判断・行動しています。

- 1.言葉以外のすべての情報に、高くアンテナを張ること。
- 2.相手の気付かない、良い点（強み）に目を向けること。
- 3.企画・コンテンツ・技術などの観点から、Good&Fit な提案を行うこと。
- 4.徹底的な情報収集とその共有を行うこと。
- 5.批評家ではなく、プラス発想から提案に取り組み、情報発信を行うこと。
- 6.結果・成果に徹底的にこだわること。
- 7.自分で新しい仕事を〈創る〉ことができる行動を起こすこと。
- 8.チームワークを重視すること。
- 9.チャレンジする行動力を身につけること。

3. CSR 活動概要

弊社は 2007 年 10 月よりプロジェクトチームを立ち上げ、本格的に CSR 関連の取り組みを開始しました。

創業から 9 期目、小さな企業である弊社にとっての CSR 活動は、大企業における活動のように社会全体への大規模・多角的な働きかけを直接行えるものではありません。



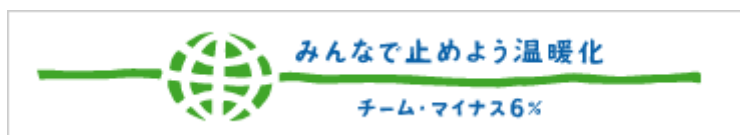
しかしながら、ごく小さな活動であってもやれることから、そしてできることから始めるということは可能であり、その小さな活動が集まることにより、最終的には社会に対して大きく貢献できると考えます。

そのためには、まず社内で小さな活動・改善を積み上げ、社長含めたスタッフの CSR に対する意識を高めていくことが重要になります。

その意識の高まりが、家庭や個人同士のつながりといった、小さな社会に働きかける原動力にもなればと思い、地道な CSR 活動に取り組みます。

4. CSR 活動報告

■温室効果ガス削減：チーム・マイナス 6%加入

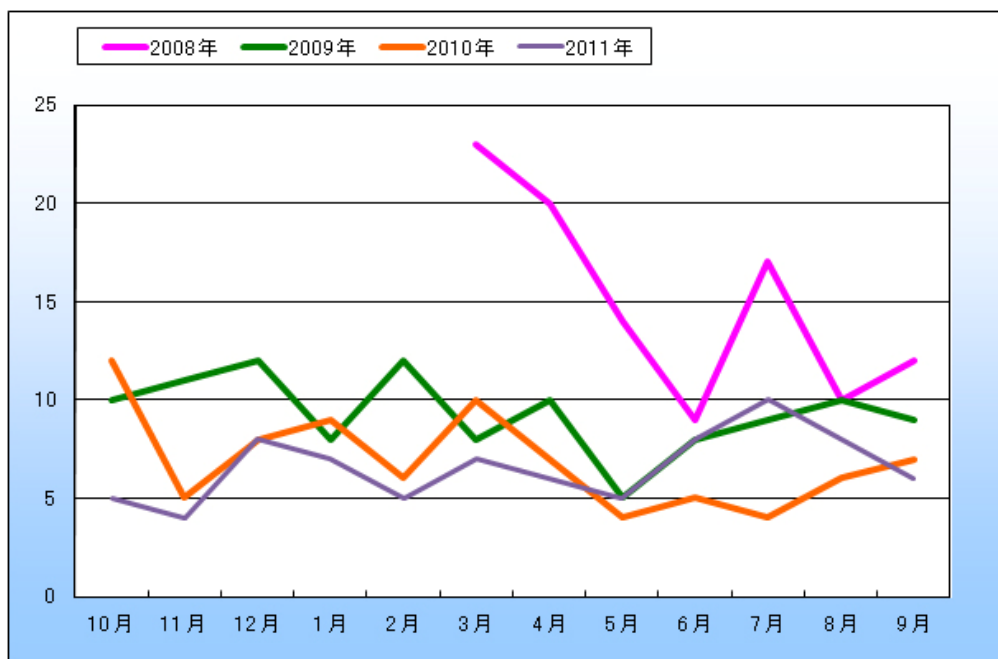


◆ごみ管理

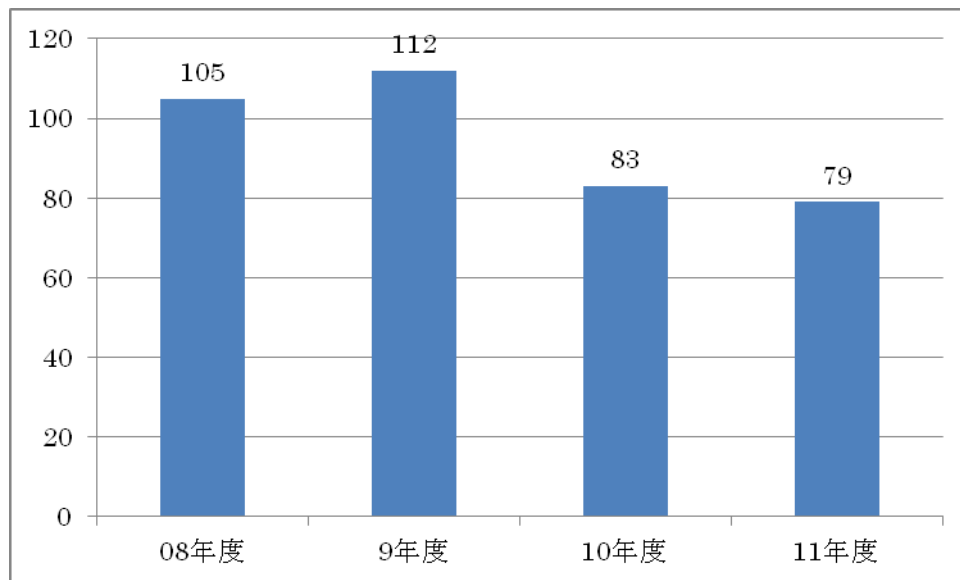
環境 CSR 活動を開始するに当たり、基本的な活動として早い段階から着手していたのがごみの問題でした。

今期も、ごみの削減に社員から積極的に取り組み、前期よりごみを削減することができました。年々、ごみの量が少なくなっており社員の環境意識が高くなっているのを感じています。

■月別ごみ袋使用枚数



■08年度	3月～9月	7ヶ月間	105袋
■09年度	10月～9月	12ヶ月間	112袋
■10年度	10月～9月	12ヶ月間	83袋
■11年度	10月～9月	12ヶ月間	79袋



前年度の 83 袋から今年期 79 袋とごみを削減することができました。
 今期もさらに BOstudio 社内での環境への意識の強さが強くなったことと、社員
 全員で協力した結果、ごみの削減につながっていると感じています。

◆ごみ処理

○分別の徹底

オフィスから出るごみの分別が比較的あいまいになりがちですが、
 BOstudio では、まずは渋谷区のごみ処理要領に基づいた社内のガ
 イドラインを明文化し浸透させる取り組みを行っています。

- ・可燃ごみ
- ・不燃ごみ
- ・古紙
- ・ペットボトル：洗浄し、ラベルと
キャップを取り除いてつぶす
- ・缶：洗浄する
- ・びん：洗浄し、キャップを取り除く



これにより、弊社がオフィスを置く渋谷区のごみ処理要領に沿ったご
 み排出が行えるようになりました。また、資源ごみを適切に分別する
 ことで、可燃ごみ・不燃ごみの排出量削減にもつながっています。

○ごみ排出量の削減

ごみ分別ガイドラインに続いて取り組んでいるのが、ごみ排出量そのものの削減でした。

1) 機密文書溶解サービスの導入

社内でのごみの分別の取り組み以前は、紙ごみはほぼすべて可燃ごみとして排出していました。これを古紙として資源ごみに分別することで、紙ごみの削減を図りました。しかし、紙ごみの大半を占める業務関連の機密書類は排出前にシュレツダ処理しており、そのため紙資源として利用することができませんでした。



そこで、2007年11月よりこれら機密文書の処理を社内でのシュレツダ処理から専門業者による溶解処理に切り替えました。これにより、シュレツダによる紙ごみをほぼゼロにすることができました。

2) エコバッグ・MY 箸の支給

弊社が排出する可燃ごみ・不燃ごみのうち、削減対象として「買い物袋」と「割り箸」に注目しました。

弊社の社員は昼食を社外から買って帰ることが多く、それに伴って毎日これらのごみが排出されていました。



そこで、2007年12月に弊社ロゴ入りの「エコバッグ」、続いて翌2008年2月に「MY 箸」を全従業員に支給しました。

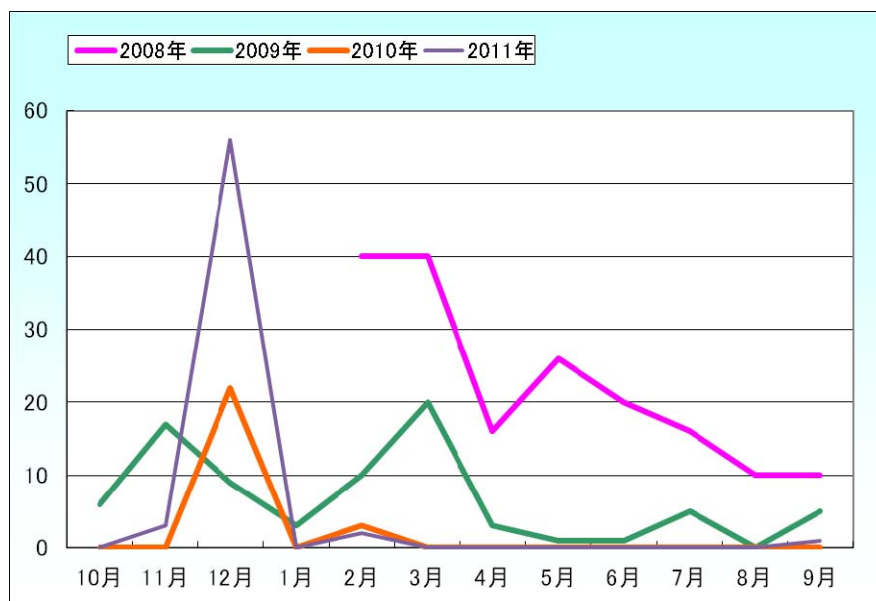
そして昼食の際には積極的にこれらを使用し、使い捨ての買い物袋や割り箸を



店頭で受け取らないようにする活動を展開しています。さらに、出前のお弁当などに付属していた割り箸についても使用せずストックし、ある程度の量になった段階で資源化できるようにしています。

社員への意識の浸透には若干の時間を要しましたが、現在では買い物袋や割り箸のごみはほとんど排出されなくなっています。

●割箸回収数グラフ



- 08年度 2月～9月 8ヶ月間 178膳
- 09年度 10月～9月 12ヶ月間 80膳
- 10年度 10月～9月 12ヶ月間 25膳
- 11年度 10月～9月 12ヶ月間 62膳

11年度の割箸回収数は、10年度の割箸回収数より増えてしまいました。原因としては、社員がコンビニからもらってきたものも2名、計2回(2膳)ありますが、それ以外に過去の割り箸が掃除のときにみつかったことが原因となります。(60膳)

ただコンビニなどで割り箸をもらってくることはほとんどなくなりました。

来期は今以上に徹底して割箸を減らし、来期は0膳を目標にしていきたいと思います。

3) エコキャップ活動

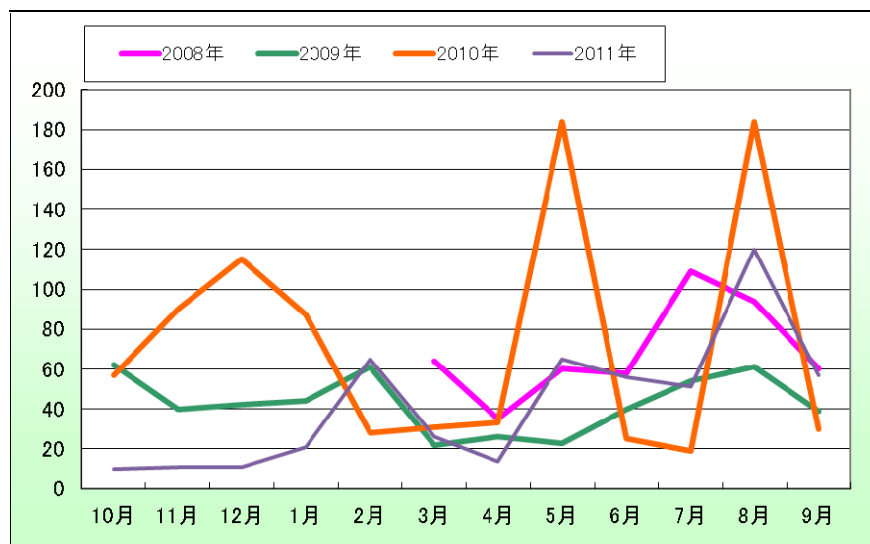
弊社は2008年3月から『エコキャップ』活動に参加しています。

『エコキャップ』活動は、NPO法人 エコキャップ推進協会が主催する社会貢献活動です。ペットボトルのキャップを収集し、

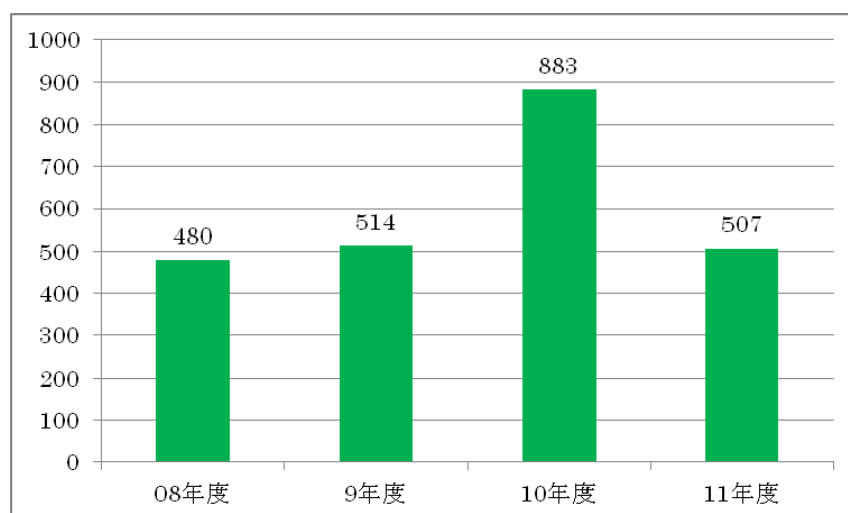


リサイクル資源として売却した収益を JCV (世界の子どもにワクチンを日本委員会) にポリオワクチン購入資金として寄付しています。

従来は不燃ごみとして排出していたボトルキャップを資源化することで、不燃ごみの排出量を削減することができました。また、福祉活動としても微力ながら貢献することができるようになりました。



- 08年度 3月～9月 7ヶ月間 480 キャップ
- 09年度 10月～9月 12ヶ月間 514 キャップ
- 10年度 10月～9月 12ヶ月間 416 キャップ
(社員の協力により自宅より持参キャップ+467) 合計 883
- 11年度 10月～9月 12ヶ月間 340 キャップ
(社員の協力により自宅より持参キャップ+167) 合計 507



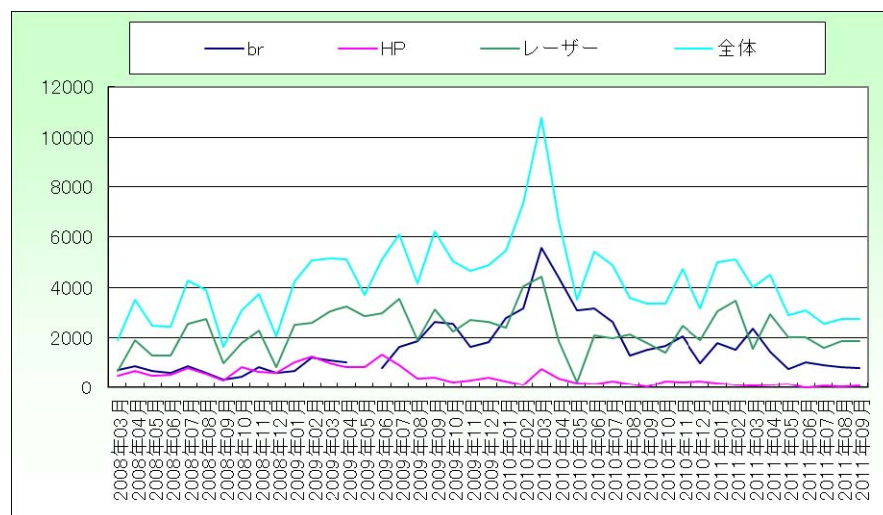
エコキャップ収集数は、前年度と比較するとかなり少なくすることが出来ました。これも社内では、なるべくごみを出さないようにした結果といえます。また、社員の環境への意識の強さが高まり、社内だけ

ではなく自宅からもエコキャップを集めてきてくれる社員もおり社内での小さな活動が家族、友達に少しでも広がっているのがわかります。

●プリンター印刷枚数の監視（紙の削減）

プリンターの印刷枚数を毎月、社内の月例報告会で発表しています。今月は、無駄な紙の使用はなかったかなどの監視や、社内文書は1ページに2枚印刷を行うなどの取り組みを行っています。またどこを改善していけばよいか、データの解釈について社内で議論を交えながら日々考えています。

その結果、無駄な紙の使用は減り、ごみもあまり出さず環境にも優しい活動ができています。



- 08年度 3月～9月 7ヶ月間 20,135枚
- 09年度 10月～9月 12ヶ月間 53,824枚
- 10年度 10月～9月 12ヶ月間 65,558枚
- 11年度 10月～9月 12ヶ月間 44,034枚

11年度は10年度より印刷枚数を少なくすることができました。社内での余分な紙は使わない、可能なものは1ページに2枚印刷での対応を徹底した結果と社員の協力のおかげだと感じています。来年度も紙の使用枚数を少しでも減らし、引き続き両面印刷、1ページに2枚印刷など、できることを確実にやって無駄な紙を減らしていきたいと思います。

◆機密文書溶解サービスの導入

- エコキャップ運動⇒プラキャップごみの削減
- エコバッグの制作・支給⇒買い物袋ごみの削減
- MY 箸の支給⇒割り箸ごみの削減
- 割り箸回収
- ごみ排出量の監視

上記の取り組みに対する効果測定、およびさらなるごみ排出量の削減を目指して、2008年4月より毎月のごみ排出量を社内で定期的に報告しています。

ごみの量や内容を定期的に見直すことで、ごみ排出量削減の糸口を探っています。

■【温室効果ガス削減：使用電力量削減への取り組み】

弊社は環境 CSR 活動の一環として「温室効果ガスの削減」に取り組んでいます。取り組みへの着手を受けて、2007年12月から「チーム・マイナス6%」にも参加しています。Webソリューション事業を営む弊社にとって、温室効果ガスの削減には大きく2つの取り組みが必要であると考えました。

- ・可燃ごみの排出量削減
- ・使用電力量の削減



先行して進んでいたごみ処理の取り組みに続いて、2008年冬季より使用電力量削減への取り組みに着手しました。

◆使用電力量の削減

- 待機電力の削減

使用電力量の削減を目指して、最初に取り組んだのが電気機器のいわゆる待機電力の削減でした。

オフィスの電気機器の利用状況を調査し、具体的な活動内容を以下のとおりまとめました。



- ・PCディスプレイ…離席時には電源を切る
- ・レーザプリンタ…退社時には電源を切る
- ・プロジェクタ、シュレツダ、電子レンジ…使用後は電源コードを抜く

以上の取り組み内容を、オフィス内に
掲示する等して社員に呼びかけました。

これらの取り組みによる節電効果自体はわずかなものですが、
社員の節電への意識付けに役立っています。

◆オフィスの空調管理の徹底

待機電力への社員の意識が高まったところで、抜本的な取り組みとして空調によって消費される電力の削減に着手しました。

過去の使用電力量のデータから、空調の稼働がピークになる夏季にはオフィス全体の使用電力量の約半分が空調によるものであることが推測されます。この空調による使用電力量を削減することで、温室効果ガス削減に大きな効果をおよぼせることができると考えました。

具体的な取り組みとしては、以下の3点があげられます。

- ・オフィス室温の管理（クールビズ／ウォームビズ）

（財）省エネルギーセンターでは、空調稼働時の室温を夏季28℃／冬季20℃とすることを奨励しています。この指標に基づいて必要十分な空調の稼働を維持できるよう、オフィス内の各フロアに室温計を設置し室温を常時監視しています。



- ・衣服による調整

弊社では週1日「スーツデイ」として全社員がスーツを着用して出勤する日を設けています。比較的弱い冷房の下でも快適に業務を進められるよう、このスーツデイの服装基準を緩和することとしました。例えば夏季はネクタイの着用を任意としています。

- ・サーキュレーター、加湿器の設置

通常のエアコンによる空調に加えて、サーキュレーターや加湿器などを併

用することでより少ない使用電力量で快適な空調環境を作れるようオフィスを整備しました。



◆使用電力量の監視

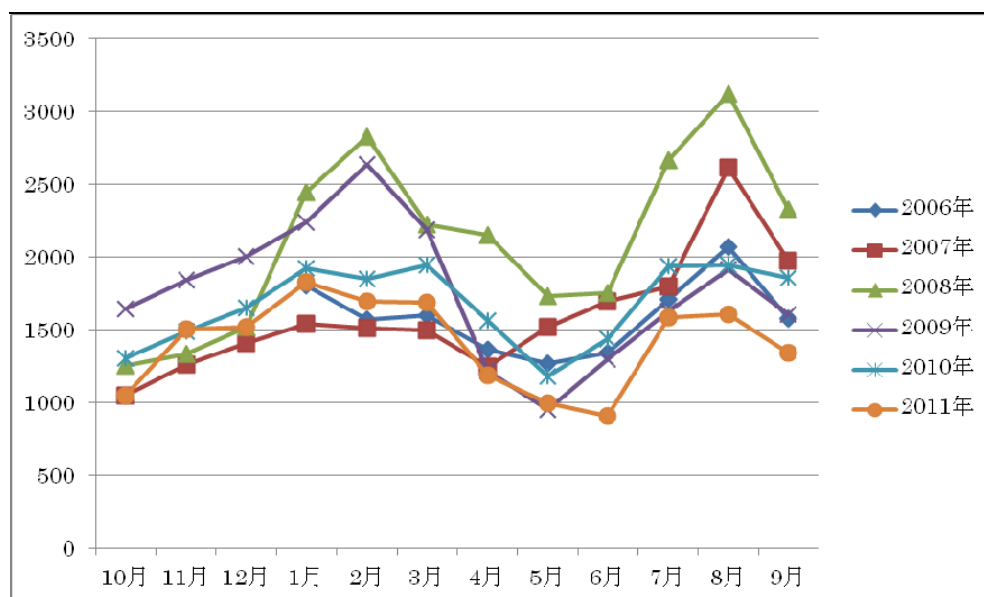
2008年6月より、毎月の使用電力量を社内に報告しています。上記の取り組みがどの程度の成果をあげているか把握したいという社員からの要望を受けてはじめたものです。

記録が残っている2005年1月からの使用電力量の推移と照らし合わせて、その月の取り組みが効果的であったか、またどこを改善していけばよいか、データの解釈について社内で議論を交えながら日々考えています。

06年度、07年度、08年度、09年度、10年度を11年度と比較してみる、過去より高い月があるものの年間を平均して電力量の使用を抑えることが出来ました。

また、夏は暑かったにも関わらず社員、皆で声を掛け合いいつも以上に節電を心掛けることが出来ました。その結果、前期に続き今期も過去1番の最低の電力使用量を記録することができました。

これは、夏のクールビズ、冬のウォームビズが浸透した結果と従業員の協力により電力量削減の声をかけをすることができた結果だと思われます。今後も引き続き、電力量の監視をしながらコツコツと取り組んでいきたいと思ひます。



■08年度	10月～9月	12ヶ月間	25,363kwh
■09年度	10月～9月	12ヶ月間	21,166kwh
■10年度	10月～9月	12ヶ月間	20,080kwh
■11年度	10月～9月	12ヶ月間	16,901kwh

◆情報収集・社内啓発

エコプロダクツ 2008 への出席
社内啓発（割り箸と環境負荷）

■社会活動

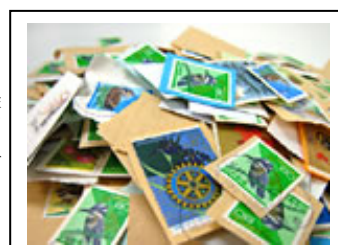
◆切手収集

BOstudio では、JOCS（日本キリスト教海外医療協力会）への寄付を目標に『使用済み切手』の収集に取り組んでいます。

アジア・アフリカの農村部では、基本的な保健医療サービスを受けられずに命を落として行く人々が多くいます。

生まれてきた子供 10 人のうち 1 人が、5 歳の誕生日を迎えることなく亡くなってしまおうそうです。

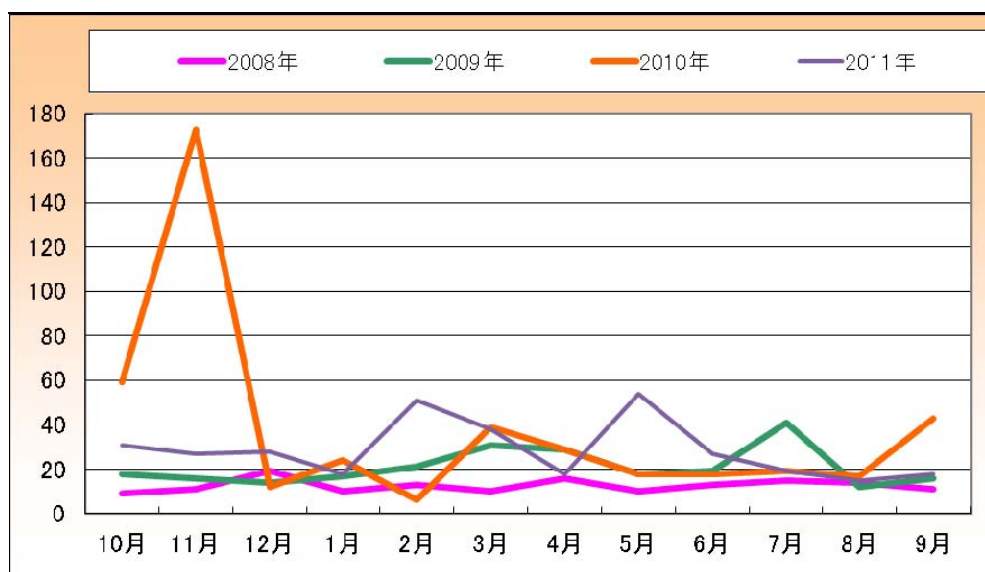
少しでもアジア・アフリカの保健医療従事者（ワーカー）の海外医療協力に役立てればと思い切手収集を始めました。



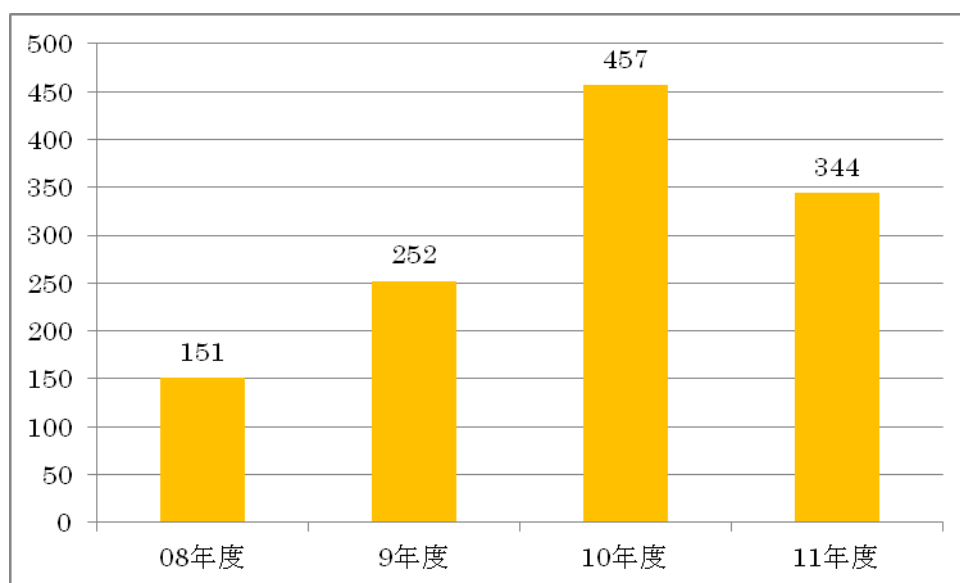
従来はごみとして排出していた切手を収集することで、微力ながらごみの排出量も削減することができました。

会社での収集枚数はそれほど多くはないものの自主的な従業員によって、家から持込など、コツコツと枚数を増やしていています。

今後も地道な活動ですが、コツコツ続けていきたいと思っています。



- 08年度 10月～9月 12ヶ月間 151枚
- 09年度 10月～9月 12ヶ月間 252枚
- 10年度 10月～9月 12ヶ月間 243枚
(社員の協力により自宅から持参切手+214) 合計 457枚
- 11年度 10月～9月 12ヶ月間 273枚
(社員の協力により自宅から持参切手+71) 合計 344枚



◆エコキャップ運動

弊社は2008年3月から『エコキャップ』活動に参加しています。

『エコキャップ』活動は、NPO 法人 エコキャップ推進協会が主催する社会貢献活動です。ペットボトルのキャップを収集し、リサイクル資源として売却した収益をJCV（世界の子どもにワクチンを 日本委員会）にポリオワクチン購入資金として寄付しています。



従来は不燃ごみとして排出していたボトルキャップを資源化することで、不燃ごみの排出量を削減することができました。

また、福祉活動としても微力ながら貢献することができるようになりました。

今期は1652キャップを、ポリオワクチンの購入資金として送付しました。

◆渋谷区クリーンキャンペーン

BOstudioでは、渋谷区役所主催による渋谷区クリーンキャンペーンに参加しています。

一定期間、区民、事業者及び区が一体となって清掃活動や環境美化に関する啓発活動を行います。会社近隣の清掃活動により、近隣住民とのコミュニケーションや街の美化に貢献、社員の環境に対する意識を高められたと感じております。



◆GSL（グリーンサイトライセンス）

BOstudioでは、WEBサイトを運営することで発生する温室効果ガス（CO2）をカーボンオフセットによって相殺するGSL（グリーンサイトライセンス）を導入しています。



◆東北関東大震災義援金寄付

3月11日(金)に発生した東日本大震災により、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

そして、被災者救助や災害対策に全力を尽くしている関係者の方々、それを支える家族の方々にも、心からの尊敬と敬意を表します。

BOstudioはまずできることとして、日本赤十字社を通して東北関東大震災義援金を寄付いたしました。小さな事かもしれませんが、1人でも、2人でも、被災者の人達の気持ちが救われるのならば、意味のある事だと考えています。

■個人情報保護

ビー・オー・スタジオでは個人情報保護に対する社会的要請を十分に認識しており、CSRの観点からも、お客様や従業員の個人情報を適切に取り扱うことは、企業の責任であると考えています。

安心・安全なサービスを提供し、皆様に信頼される企業であり続けるためにも、以下の取り組みを実施しております。

◆プライバシーマークの取得

個人情報保護に対する意識の向上、安全管理の実践をめざし、財団法人日本情報処理開発協会（JIPDEC）が運営するプライバシーマークを取得しました。

（2007年4月取得）（2011年4月更新）

* プライバシーマーク制度は、日本工業規格

「JIS Q 15001個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。



本年度は2006年度版認定規格のJIS Q 15001に対応した

プライバシーマークの更新審査があり、審査の対応とPDCAサイクルでの見直しを進めてきました。

◆全社員（派遣社員等含む）への研修会の実施

PMS(個人情報保護マネジメントシステム)規定の遵守と具体的な個人情報の取扱い・管理方法を周知徹底するために全社員（派遣社員等含む）対して研修会を実施しております。

◆個人情報保護の理解度チェック

個人情報保護の理解度を推し量るために、全社員に対し、Webを用いた自己診断テストによる理解度チェックを実施しています。各設問の後には解答と解説を付け、誤った理解をしている場合は、すぐに復習できるものを採用し、また、合格に満たない社員には再テストを行なっています。

■労働環境の改善

◆加湿器の導入

加湿器の導入により、冬場の室内乾燥を防ぎ、病気の予防対策、または、エアコンを使用しなくてもある程度の温度の上昇を助け、電力減少にも貢献しております。



◆オフィスエントランスの整備

- ・マガジンラック
- ・エントランスマット
- ・シール
- ・Pマーク認定証設置
- ・経営革新計画認定書
- ・睡眠改善インストラクター認定書

来社されたお客様、社員が気持ちよくエントランスを使用できるよう、エントランスに会社ロゴ入りのマットを置き、マガジンラックの設置や会社のロゴシールの張り替えを行いました。

これにより、以前より、エントランスがきれいになり、来社されたお客様にも気持ちよくエントランスを使用していただいております。



◆サーキュレータの運用

サーキュレータの運用により、空気の循環が良くなり、エアコンの稼働率を抑えることに成功しました。これにより、電力減少に貢献しております。



◆オフィスグリコ

社内にオフィスグリコを設置し、社外に出なくてもちょっとお腹がすいたときにはおやつが食べれるようになりました。健康のことも考え、お菓子ばかり食べ過ぎないよう量をチェックしています。



◆置き薬の運用

体調が悪いときに、買いに行かなくても薬が飲めるように社内に薬箱を設置しました。

健康のためにも置く薬を選んで、どのくらい薬を使用しているかチェックを行っています。



◆社内での活動報告状況

○月例報告

毎月第2週に、社内でCSRの活動報告を行っております。取組んでいる活動の結果を伝えることにより、社員の環境活動の意識が高くなっていると感じております。



◆新人研修

CSRの意味から、BOstudioで取組んでいる環境活動の研修をし、BOstudioのCSR活動について、よく知ってもらい、同時に環境への意識を高めてもらうための研修を行っております。

◆社外への情報公開

○CSR ブログ

BOstudioが取組んでいるCSR活動を、ブログにより情報発信しています。日頃の活動報告から、CSR活動の成果、CSR活動での悩み事などを掲載しております。



○年次報告書

08年度、09年度、10年度、11年度CSR報告書を制作し、公開しております。

